

英語で教える:入門編

－ 英語による授業のための教授法 －

ルパート・ヘリントン 氏

英国リーズ大学言語センター・上級講師

2016年9月28日(水)・29日(木) 9:15～16:15

会場とスケジュールの詳細は裏面をご参照ください。



概要：本セミナーは、英語を教授言語として授業をしている教員、および今後担当する教員を対象に、英語で授業をする際に活用できる効果的な教授法を紹介します。どの専門分野の授業においても活用できるものです。

このセミナーでは、特に次の点が特徴です。

- ・一般に、英語圏からの学生は授業中の議論に積極的に参加します。このセミナーでは授業における学生との効果的なインタラクションの技法を紹介します。
- ・英国の大学での優れた実戦事例を紹介しながら、専門分野を問わずに活用できる授業準備の型やモデルを紹介します。

セミナーは、2つのレクチャーと6つのワークショップで構成されています。参加者は、希望するセッションを自由に選んで参加できます。8セッション全てに参加した方へ、リーズ大学より修了証明書が発行されます。

場所：東山キャンパス文系総合館

(セッションにより同館内で教室が変わります。裏面をご参照ください。)

対象：英語による授業に関心を持つ教職員

使用言語：英語

参加申込：参加希望のセッション、氏名、所属、専門分野、英語での授業経験年数、大学教育経験年数を下記ウェブサイトより申し込み願います。

http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar_herington

申込期限：9月14日(水)

主催：名古屋大学高等教育研究センター・リーズ大学言語センター

お問合せ：名古屋大学高等教育研究センター

info@cshe.nagoya-u.ac.jp

	9:15-10:15	休憩・移動	10:45-11:45	昼食	13:00-14:30	休憩	14:45-16:15
9/28 (水)	レクチャー1		ワークショップ 1		ワークショップ 2		ワークショップ 3
9/29 (木)	レクチャー2		ワークショップ 4		ワークショップ 5		ワークショップ 6

◇レクチャーセッション 於：文系総合館7階カンファレンスホール

レクチャー1：英語による授業の各国事情

非英語圏の国で、英語を教授言語とする授業が増える中、日本を含む各国でどのような課題があり、どのように対応しているかの概略を紹介します。

レクチャー2：講義における英語運用の基礎

非英語話者が講義をする際に直面する課題は大きく2つあります。1つは、授業に適した英語を使うことであり、もう1つは受け身になりがちな講義で学生をどうひきつけるかです。このレクチャーでは、学生を引き付ける英語講義のための技法を、実戦事例を交えて紹介します。

◇ワークショップセッション 於：文系総合館5階アクティブラーニングスタジオ

ワークショップ1：講義における英語使用

特に大人数クラスの講義で英語を正確に話すことを中心にしたワークショップを行います。

ワークショップ2：少人数授業の教授法基礎

少人数セミナーや研究指導を英語で行う教員向けに、学生参加の技法や学生とのコミュニケーションを十分に行うための技法を紹介します。

ワークショップ3：講義法の基礎

講義をより効果的に行うための技法と、学生を参加させるための技法を紹介します。

ワークショップ4：学習評価の技法

学生の評価および学生へのフィードバックをテーマに、英語による授業で用いられる評価技法やフィードバック技法を紹介します。

ワークショップ5：授業中に用いるさまざまな技法

学生がより深く授業内容を理解できるよう、教員が行えるさまざまな支援の方法を紹介します。

ワークショップ6：自律的な学習を支援する方法

英語による授業で一般に学生に求められる自己学習と、それを支援する技法を紹介します。

講師：ルパート・ヘリントン氏

リーズ大学言語センター上級講師として、英語による授業者のための教育に20年以上携わり、世界各国で数多くのセミナーを開催してきた。英国以外にスペインとフィンランドでの教育経験があり、日本、中国、ブラジル、チュニジアなどで英語教授法のセミナー講師を担当してきた経験を有する。